

今月の題字



熊野東中学校 3年 越智 彩香 さん

挑戦  
中ニ田中みなる

熊野東中学校 2年 田中 みなる さん

【評】一画一画丁寧に次へつながらることを意識して、しなやかでのびのびした線が書けている作品です。



熊野東中学校 1年 三原 彩花 さん

【評】じっくりと形を観察し、靴紐の形やシューズの特徴を捉えている。陸上部に所属し、練習に真面目に取り組んでいる生徒らしく、道具に対する愛情も感じられる。

熊野の自然 (370)  
ニワウルシ  
(ニガキ科)



庭に植えられ葉がウルシに似るので、庭漆の名です。ウルシ科ではありません。別名、神樹。同属のインドネシア東部モルッカ諸島に分布する種に「天にも届く高木」という意味の名が付いていたことから、英名ツリー・オブ・ヘブンとなり、訳して神樹となりました。中国原産の落葉高木。幹は直立し、最大高さ25m直径1mに達します。樹皮は灰色。枝は太く、ハート形の大きな葉痕が目立ちます。明治初期に渡来。成長が速く、病虫害や大気汚染にも強く、公園樹、街路樹などとして植えられます。河原や土手などに野生化したものも多く見られます。長さ40〜100cmもある羽状

複葉が互生します。小葉がとも多く13〜33枚もあります。小葉の先はしだいに細くなり尖っています。小葉の基部に1〜2対の鈍い鋸歯があり、その裏に蜜腺があれば、ニワウルシです。奇数羽状複葉とされていますが、偶数羽状複葉が多く付いている木もあります。6月頃、枝先に円錐花序を数個つけ、黄緑色の小さな花を多数開きます。雌雄異株。写真は若い果実で、熟すと褐色になります。長さ4〜5cm。先の尖った翼果で、中央に直径5mmほどの扁平な種子があります。呉地ダムの下を南へ向かう林道などで見られます。

【写真・文】  
緑花文化士 富沢由美子

筆の駅ミニギャラリー  
●第3回全国はがき筆文字展  
(はがき筆文字協会)

時7月2日(木)〜7月14日(火)

審査員に詩文書作家協会常任顧問の石飛博光さんや、元文部省教科調査官の加藤東陽さんを迎え、年に一回はがき筆文字作品を公募されている全国はがき筆文字展。今年もその巡回展が筆の駅にて開催されます。

子どもから大人までの応募作品や、審査員自らの作品をぜひご覧ください。



熊野町観光案内所「筆の駅」  
熊野町出来庭10・6・24  
問85・1123(いいふみ)  
開10時〜16時  
(各展示の最終日は15時閉場)  
休水曜日・第3日曜日  
※無料  
※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。



「広報くまの」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。



分かりやすく、読みやすく、間違えにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。

